

2023年5月10日

各位

会社名：株式会社ルネサンス  
 代表者名：代表取締役社長執行役員 岡本利治  
 (コード番号：2378 東証プライム市場)  
 問合せ先：取締役専務執行役員 安澤嘉丞  
 最高財務責任者 管理本部長  
 (電話番号 03-5600-7811)

通期連結業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上  
 並びに繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、2022年11月11日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行いましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2023年3月期連結業績予想と実績値の差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,000	百万円 1,000	百万円 700	百万円 550	円 銭 29.12
実績値 (B)	40,760	680	311	△1,141	△60.44
増減額 (B-A)	△239	△319	△388	△1,691	
増減率 (%)	△0.6	△32.0	△55.5	-	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	37,120	912	632	513	27.19

(2) 差異が生じた理由

2023年3月期の通期連結業績予想におきましては、2022年11月11日の時点で入手可能な情報をもとに、スポーツクラブ事業における在籍会員数の伸長と光熱費等の上昇の継続を一定程度見積もっておりました。売上高は、概ね前回予想に近い水準で推移したものの、営業利益及び経常利益は、主に光熱費の上昇が想定以上となったことから、前回予想を下回る結果となりました。また、当第4四半期連結会計期間において、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行ったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前回予想を下回る結果となりました。

## 2. 特別損失の計上について

### (1) 営業施設の減損損失

当社の保有する固定資産について、過去の業績及び保守的に見積もった将来計画を踏まえ、投資の回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、19の営業施設において固定資産及びリース資産等の減損損失として、5億18百万円を特別損失に計上いたしました。

### (2) 連結子会社に係るのれんの減損損失

当社の連結子会社である株式会社 BEACH TOWN について、当期及び今後の業績動向等を踏まえ、将来の収益価値を慎重に検討した結果、同社に係るのれん80百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

## 3. 繰延税金資産の取崩しについて

当期及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩し、7億49百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

以 上